

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人 権 ・ 労 働	1	☐ 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・毎月の会議において店長研修をする等、マネジメント職者の教育体制を整えている ・社内倫理相談窓口やマツダ(株)人権相談窓口を設置し、相談しやすい環境を整備している ・【予定】LGBT教育を実施し、当社社員の理解促進を図る ・【予定】社内LGBT担当者を設置し、専用相談窓口を設置する					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	☐ 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントに関する基本方針を社内イントラへ開示し、全社員の啓発を行っている ・ハラスメント行為の禁止を就業規則に明記している ・社内倫理相談窓口、マツダ(株)人権相談窓口、マツダ(株)マツダグループ窓口、第三者窓口(法律事務所)の4つの相談窓口を設けている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	☐ 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・36協定を締結している ・車両洗車パートの採用や、業務のシステム化(RPA導入)を推進し、社員の業務の工数削減・負荷軽減を進めている ・WEB出勤簿による出退勤管理を行っている(60時間超の管理職に対しても是正勧告をしている)								8.5 8.8									
	4	☐ 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者(技能実習生、留学生)を採用している ・休日・労働時間・賃金・住環境等、当社社員と同様の規定で雇用をしている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	☐ 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・指定産業医同席のもと、安全衛生委員会を毎月開催している ・各店舗で安全衛生管理者を選任し、労働環境の整備に取り組んでいる ・労災事例を社内イントラで共有し、労働安全衛生の啓発を継続している			3					8									
	6	☐ 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・心の健康づくり計画を作成している ・メンタルヘルス研修を開催している(隔年) ・各自の状況を考慮した心のケアや、復職プランを整備している ・健康経営の取組みの1つとしてストレスチェックを実施し、指定産業医のカウンセリングを受けられる体制を整えている			3														
	7	☐ 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・高齢者、障がい者の雇用制度や、女性管理職の登用を推進し、多様な人材が活躍できる職場環境を提供している ・短時間勤務、繰り上げ勤務もあり、各自のライフスタイルに応じた多様な働き方ができるようサポートしている ・人事評価制度に則り、上司とキャリアミーティングを実施、各自のキャリアプランを明確にしている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	☐ 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・人材育成プログラムに則り、経験年数や職種に応じた各種研修を開催している (新型車研修、サービスアドバイザー研修、入社1～3年目研修、営業スキルアップ研修、部品担当者研修、保険勉強会等)				4	5.5			8	9								

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
9	☐	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・人事評価制度で、経験年数・職種ごとに能力要件を定義し、公平な評価を実施している ・人事評価制度を改定し、全社員が正当に評価され、働きやすいと感じられる制度への変更を実施している					5.5			8.5		10.2 10.3								
	☐	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・健康経営に取組み「健康経営優良法人」認定に向け取組み推進している。また、全社に向け健康宣言を明文化している。 ・ソフトボール大会等、スポーツの推進を行っている ・インフルエンザ予防接種の補助金制度（健康保険組合）や健康スクリーニングの実施、人間ドック補助制度で、社員の健康増進に努めている			3					8										
11	☐	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・エコアクション21に取り組んでいる ・廃棄物排出量を2030年度までに毎年1％削減する計画を策定している ・電子マニフェストによる管理を行っている											11.6	12		14.1				
	☐	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・エコアクション21に取り組んでいる ・CO2使用量、排出量を把握し、適切に管理している ・2030年度までに毎年1％削減の計画を策定している							7.3							13				
13	☐	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・エコアクション21に取り組んでいる ・CO2使用量、排出量を把握し、適切に管理している ・2030年度までに毎年1％削減の計画を策定している ・アースアワー（WWF主催）、ライトダウンキャンペーン（環境省主催）に参加、温暖化対策に取り組んでいる							7.2 7.3					12.4	13.3					
	☐	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・エコアクション21に取り組んでいる ・PRTR法対象物質を適切に管理し、出来る限り使用を控えている ・SDS（安全データシート）を適切に使用している ・リスクアセスメント実施体制を整備し、潜在的な有害性やリスクを予測、低減活動を実施している			3.9		6.3							11.6	12.4					
環境	☐	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮した商品（マツダ車）を販売し、燃料採掘からクルマの走行まで、クルマのライフサイクル全体でCO2の削減に取り組んでいる ・エコアクション21に取り組んでいる ・フロンガスの自主点検を実施している（3か月に1回） ・オイル流出事故に備え、油分散洗浄剤（OSD-500W）を各店舗に常備している ・油水分離槽の点検を実施している（月2回）						6.6									15			
	☐	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・エコアクション21に取り組んでいる ・資源ごみの分別、エコキャップ収集、裏紙の利用等、3Rを推進している ・下取車のリサイクルセンターでの適切な処理、車のリサイクル及び良質な中古車の販売を行っている													13		14.1			

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社甲信マツダ)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
17	☐	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・エコアクション21に取り組んでいる ・全社の上下水道の使用量を管理し、使用量削減等の計画を策定している						6.4 6.6											
18	☐	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・エコアクション21(認証・登録番号0003906)を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	☐	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境経営レポートを開示している(当社ホームページ、エコアクション21中央事務局ホームページ)												12.6					
20	☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】店舗リニューアル時に太陽光パネルの設置を検討している							7.2						13				
21	☐	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・飲み物提供時のカップやマドラー等はプラスチック製品を使用しない ・【予定】エコマーク認定商品購入を推進している												12.2	13	14	15		
22	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンスマニュアルで取引先との適切な関係を提示している ・「接待贈答に関するガイドライン」を制定している ・贈答品を受け取った場合は、承認・決裁のうえ適切な処置を行っている。 ・eラーニングで啓発を行っている(全社員受講)																16 16.5	
23	☐	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンス研修やeラーニング(全社員)を受講し、適切な販売活動をしている。また、定期的な社外研修を担当者が受講している。																16	
24	☐	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・不正ライセンスの使用防止のため、一覧で管理している								8.2 8.3	9								
25	☐	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・プライバシーポリシーを店舗ショールーム、当社ホームページで公表している ・コンプライアンス研修やeラーニングの受講、社内イントラに自主教育用の教材(ワンポイントレッスン)を掲載し、教育環境を整備している ・全社員に向けて、定期的に個人情報管理ルールを発信し、社員の啓発に努めている ・個人情報管理台帳を全店舗に完備し、個人情報の取得から廃棄まで適切に管理している																16	
26	☐	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社販売商品の原材料を確認している																16	
27	☐	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先など事業パートナーとの意見交換を実施している ・取引先との「適正な取引推進」のため、社員教育や社内監査の実施により、下請法の遵守を徹底している ・下取車のリサイクルセンターでの適切な処理、車のリサイクル及び良質な中古車の販売を行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

[illegible]

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	☐	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・VOCを収集している ・協力関連企業や団体等との対話の機会を積極的に行っている（販売店協会、信泉会、経営者協会 等）																16	17
	☐	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・定期的に自己診断、他人診断を実施し、リクスマネジメントに努めている（社内監査） ・定期的な内部監査を実施している（マツダ（株）の業務監査、J-SOX監査） ・外部監査（監査法人）による、客観的な監査を実施している ・エコアクション21（環境）推進責任者を選任し、環境領域のリスク管理体制を構築している																16	
	☐	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・社員一人一人が、企業が与える社会的責任を理解、お客様をはじめとするステークホルダーとの対話を大切に、業務改善に努めている ・日々の事業活動を通じて、CSRの取り組みを推進している 【予定】AED導入を検討している																16	
	☐	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・火災・爆発・破裂対応マニュアルを作成している ・全店舗の自然災害ハザードマップがある ・緊急事態避難訓練、消防訓練を実施している（年2回） ・【予定】BCP（事業継続計画）の作成を準備中である ・【予定】備蓄品の配備設置を予定している									9		11		13 13.1			16	
	☐	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・代表者が変わっても、「理想の姿の実現のための会社運営」をして行くことを、「会社の社員に対する約束事」として社員に明示している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域スポーツの事業振興	・地元アスリートへの活動サポートとして、車両（CX-8）貸与サポートを行っている。（遠征移動、トレーニング機材輸送のサポート） ・信濃グランセローズスタッフ移動車両（CX-5）の貸与サポートをしている。 ・ポアールス長野フットサルクラブのアーリーなスポンサー（ホームゲームでの資金提供）をしている。						3	4							11						17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）